

■秋期実施：英語

次の文章を読み、以下の設問に答えよ。

(著作権の都合上、問題文の掲載をしております。)

■ 出典：Anthony B. Atkinson, *Inequality-What can be done?*, Harvard University Press, 2015, pp.87-89.

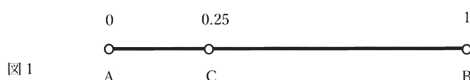
1. 下線部(a)と考える理由を、本文で書かれていることを根拠に述べなさい。
2. 下線部(b)を日本語に訳しなさい。
3. 下線部(c)の意味を、本文での文脈の中で説明しなさい。
4. 下線部(d)が成立する理由を、本文で書かれていることを根拠に述べなさい。

■秋期実施：ミクロ経済学

[I] 2財2消費者の交換経済を考える。消費者1の効用関数は $U^1(x_1, x_2) = (x_1)^{\frac{1}{2}}(x_2)^{\frac{1}{2}}$ 、初期保有は $(\omega_1^1, \omega_2^1) = (0, 100)$ 、消費者2の効用関数は $U^2(x_1, x_2) = \min\{x_1, x_2\}$ であり、初期保有は $(\omega_1^2, \omega_2^2) = (100, 25)$ とする。(ここで、 x_l 、 $l = 1, 2$ は財 l の消費量、 ω_i^l 、 $i = 1, 2$ 、 $l = 1, 2$ は消費者 i の財 l の初期保有量、 $\min\{x_1, x_2\}$ は x_1 と x_2 の小さい方を表す。)消費量は非負であるものとする。

1. 財1, 2の価格がそれぞれ p_1 , p_2 である時、消費者1の需要を求めよ。
2. 財1, 2の価格がそれぞれ p_1 , p_2 である時、消費者2の需要を求めよ。
3. この交換経済の均衡における2財の価格比、消費者1, 2の消費をそれぞれ求めよ。
4. 均衡で実現される配分はパレート最適であるというが、ある配分がパレート最適であるとはどのような状態をいうのかを説明せよ。
5. エッジワースボックスを描き、パレート最適で両消費者とも初期保有の状態よりも望ましいような配分の集合を図示せよ。ただし、消費者1の原点を左下に取り、財1の消費量を水平方向に測るように描くこと。

[II] 1. 図1のように区間[0,1]上に、A, B, Cの3人がそれぞれ、地点0, 地点1, 地点0.25に住んでいる。この3人で集会所をどこにつくるかを定めることになった。3人とも、自分の居住地に近いところに集会所ができるほど効用が高い。場所の決定は、次のルールによって決められる。まず、Aが候補地を提案する。それを見て、次にBが候補地を提案する。最後にCが2つの提案のうちどちらにするかを決定する。



- 1) Aの提案が地点0であった場合、Bはどのような提案をするのが良いか。

2) このゲームの部分ゲーム完全均衡において実現される集会所の建設場所をもとめよ。均衡が存在しない場合は「存在しない」と記せ。

3) 同じ決め方で、区間[0,1]上のどこかにゴミ処分場の場所を決めることになった。3人ともゴミ処分場は自分の居住地から遠いほど効用が高い。部分ゲーム完全均衡において実現されるゴミ処分場の建設場所をもとめよ。均衡が存在しない場合は「存在しない」と記せ。

2. 区間上ではなく平面上にA, B, Cの3人が住んでおり、同じ決め方で集会所の建設場所を決定することを考える。図2のように、A, B, Cの3人はそれぞれ(x,y)平面上の地点(1,1), 地点(0,0), 地点(2,0)に住んでいる。3人とも自分の居住地と集会所の距離が短いほど効用が高い。場所の決定は、まず、Aが候補地を提案する。それを見て、次にBが候補地を提案する。最後にCが2つの提案のうちどちらにするかを決定する。

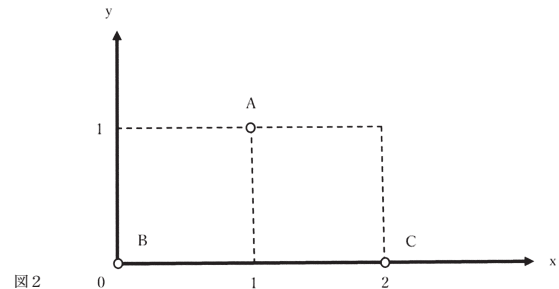


図2

- 1) Aの提案が地点(1,1)であった場合、Bはどのような提案をするのが良いか。
- 2) このゲームの部分ゲーム完全均衡において実現される集会所の建設場所をもとめよ。均衡が存在しない場合は「存在しない」と記せ。

3. A, B, C3人の居住地に、同種の店P, Qが同時に出店場所を決めることとなった。A, B, Cの3人は居住地に近い店を利用するが、両店舗が同距離にある場合は同確率で両店を利用するものとする。店P, Qは自店を利用する人数が最大になるように出店位置を決めたい。

1) 図1のようにA, B, Cが居住しており、区間[0,1]上にP, Qが出店位置を決める場合、ナッシュ均衡におけるP, Qの出店位置を理由とともに説明せよ。均衡が存在しない場合はそのことを理由とともに説明せよ。

2) 図2のようにA, B, Cが居住しており、(x,y)平面上にP, Qが出店位置を決める場合、ナッシュ均衡におけるP, Qの出店位置を理由とともに説明せよ。均衡が存在しない場合はそのことを理由とともに説明せよ。

■秋期実施：マクロ経済学

[I] 次のIS・LMモデルに関する各問題に答えよ。ここで、 Y は国民所得、 C は民間消費、 I は民間投資、 G は政府支出、 T は税収、 r は利子率、 M はマネーストック、 P は物価、 L は貨幣需要をそれぞれ表している。また、 C_0 , c , I_0 , a , L_0 , b_1 , b_2 はすべて非負のパラメータとする。解答に際しては計算過程も明示すること。

$$\begin{array}{ll}
 Y = C + I + G & \text{財市場均衡式} \\
 C = C_0 + c(Y - T) & \text{民間消費関数} \\
 I = I_0 - ar & \text{民間投資関数} \\
 M/P = L & \text{貨幣市場均衡式} \\
 L = L_0 + b_1Y - b_2r & \text{貨幣需要関数}
 \end{array}$$

1. G , T , M , P を定数として、国民所得および利子率の均衡値を求めよ。
2. 政府支出増加の国民所得に対する効果に関して、 b_2 がどのようなときにその効果が45度線モデルの乗数効果と一致するか。上記のモデルより算出された結果を使って答えよ。
3. 総需要関数を導出せよ。また、横軸に総需要、縦軸に物価をとって、導出した総需要関数を図示せよ。
4. 古典派モデルの場合、政府支出の増加は国民所得、利子率および物価に対してどのような効果を与えるか。財市場、労働市場および貨幣市場への影響を考慮しながら述べよ。

[II] 下記の語群から2つを選択し、その意味をできるだけ詳しく説明せよ。必要に応じて数式や図を用いてもよい。

(語群)

- (a) マーシャル＝ラーナー条件
- (b) 購買力平価説
- (c) 自然失業率
- (d) 金利裁定式と為替リスク・プレミアム
- (e) クラウディング・アウトと貨幣需要の利子弾力性